



いちえ

みんなで
わくわく
どんどん

2023/09/28 苓北町立都呂々小学校
学校便り 第8号 文責 校長

都呂々小学校 ホームページ
QRコード →



No more Minamata ~悲しみを繰り返さない~

7月…水俣から3人のゲストティーチャーをお招きし、都呂々小の5・6年生が「水俣病」について学習を深めました。事前学習した水俣病についてさらに学習を深めることが目的です。

戦後の高度経済成長の中で日本では多くの工業製品が生み出され、便利で豊かな国になりました。しかし、そうした豊かさや便利さの裏には、“公害”という副作用に苦しめられてきた人々が居たこと、そして今もなお苦しんでいる人々が居ることなど、私たちは決して忘れてはなりません。

今から約70年ほど前、目に見えないメチル水銀化合物によって汚染された水俣湾。そして、海が汚染されたことでそこに生きる魚介類も汚染され、やがてそこに住む人々の体までがむしばまれていきました。また、目に見えないモノが原因であるが故に“奇病”と呼ばれ、目に見えないモノが原因であるが故に偏見や差別が生まれました。“科学的根拠”や“事実・真実”を知ることなく、ただ目の前に映る“事象”だけで判断した結果、水俣病に対する偏見や差別が生まれました。

しかし、水俣に住む人々は、そうした偏見や差別に負けることなく、真の「水俣再生」に向けて立ち上がります。3人のゲストティーチャーは、ご自身の経験を踏まえ、後世に水俣病の悲惨さや苦しみを伝えようと活動されています。笑顔の中にも真剣なまなざしで、時折冗談を交えながら子どもたちにご自分の体験・経験を語ってくださいましたが、そのお話は本当に心に響くものでした。



そして9月…今度は5年生が実際に水俣を訪れ、これまで机上で学習してきたことをさらに深

めました。熊本県内の5年生全員が学ぶ「水俣に学ぶ肥後っ子教室」事業です。この事業は、「環境立県くまもと」づくりの担い手である熊本の子供たちに、水俣病への正しい理解を図り、差別や偏見を許さない心情や態度を育むとともに、環境や環境問題への関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成することを目的としています。

この「水俣に学ぶ肥後っ子教室」から帰ってきた5年生に、後日、校長室でインタビューをしました。以下、5年生の言葉をまとめたものを掲載しています。

【インタビュー】

Q1:水俣で、一番心に残ったことは何ですか？

A1:水俣病のこと、そして水俣病が原因で起こった差別の現実がよく分かりました。また、人が起こした差別によって負った心の傷は治らないから、差別は絶対にしてはならないと思いました。

Q2:水俣で学んだことを今後はどう生かしたいですか？また、もっと深く学びたいことは何ですか？

A2:まずは、水俣病についてさらにしっかりと学び、正しい知識を身につけたいです。そして水俣病による差別はもとより、他の差別も起こしてはならないと思います。さらには、日本に限らず他の国々の公害問題、環境問題についても学びたいです。また、SDG'sについても学びたいです。



校長室で私からのインタビューに堂々と回答する5年生の姿を通して、水俣での学習に真剣に臨み、そして、大きな学びを得たのだろうと感じました。(^-^*)

地域公開授業のお知らせ

令和5年10月12日(木) 9:45~11:25

都呂々っ子たちの授業を見に来られませんか？どなたでも参観可能です。事前の申し込みなども必要ございません。この機会に、多くの保護者・地域の皆様のご来校をお待ちしております。<(_ _)>

【お問い合わせ 0969-36-0025 (都呂々小)】